

このレポートを

ダウンロードいただき

まことにありがとうございます。

**[家の重大箇所をより良くする方法]**  
**=知らなきゃ損!--後悔しない為の知識=**

としたのには

訳があるからです。

新築、リフォーム時、

もしくは

引越しなどの移転、

移住時においても

必ず皆が

感ずる、

そして

私自身

困った経験がある事柄を上げ、

解決の為の方法をお伝えしようと

思ったからです。

[はじめに]

先ず

建築物とは

後から細工が出来ないものであるということを  
理解してください。

では

具体的に例を上げてみましょう。

1.階段に手すりを もう片側にも付けたい時

2.洗面室のパイプの数や 位置を変えたい時

3.TV をカベに取付したい時

4.冷蔵庫の上に棚板を付けたい時

5.納戸(物入れ)に棚板やフックを付けたい時

6.廊下やトイレにも手すりを付けたい時

7.意外に必要! 玄関の盲点

以上の点は

誰しもが入居後に感じるどころであり

将来において

必要になる可能性が強い事柄です。

ですが

残念なことに

その時になって

ご自分では解決できない

事柄でもあるのです。

その理由は

すごく単純で明快な事なのですが

## 『下地が無い』

ことに起因しています。

そして

考えれば想像できる事ばかりなのに

特に希望しなければ下地工事はして  
もらえない!

という現実です。

では

不親切なのか？

ということではなく

特に希望された場合は

オプション扱いとなり

全体価格にも影響が出るからに過ぎないからです。

もし

仮に 下地を付けてもらえらるとしても

何のために?

どのように?

という知識は

設計、特に

住宅の家具の知識が無ければ

気がつかないことでもあり

残念ながら

周辺工事の知識は

住宅(建築)の知識意外となっているため

話を避けざるを得ない印象を受けています。



それでも

新築、リフォーム時、  
という条件に限りますが、

打ち合わせ時に  
話すことで  
以上の点は解消出来ます。

[具体例の解決法]

具体的に想像し

将来のためと言ってお願ひする

では

具体的に例を取って

説明しましょう。

## 1.階段に手すりを もう片側にも付けたい時

これは

想像できないかも知れませんが

手すりは

理想としては

両方あるほうが

断然安全です!

なぜならば

手には

「利き手」というものがあるからです。

そして

高齢になればなるほど

片手でつかまるだけでは

体を支えることが困難になります。

よく 地下鉄の階段を両手で

手すりを持ちながら上がってくる

ご老人を見かけることがあります。

今の自分には

想像できないことも

考えておいて損はないということです。

下地は

一定間隔では必ず入っているものですが

「連続手すり」とする場合は

**下地が入っていなければ付きません!**

そして

バリアフリー住宅では

「連続手すり」が当たり前になってきていますので

階段の両側のカベに一定の高さ(=手すり取付高)に  
下地を入れてもらいましょう!

\*\*\*注意\*\*\*

下地のない所に手すりを付けるためと

ボードアンカーを使っているのを見たことがありますが

近い将来、必ず「抜けかかって」きます!!!

その場合には

多少見てくれは悪いのですが

横方向に板(12mm 以上)を取り付けてから

手すりを付けるようにしてください。

## 2.洗面室のパイプの数や 位置を変えたい時

これは

必ずある要望です!

まず

「手が届かない」場所に

パイプがあるといったことはありませんか?

小さなお子さんは届かないとしても

女性まで手が届きにくいといったことは

よくある話です。



それと

段違いにパイプを付ける必要も感じていますが

\*\*\*

洗面室の多くは

下地が余分には入ってはいなく

一定間隔でしか

パイプを付けることができません!

ですから洗濯機の上に  
ボックスを付けたいと思っても

下地が  
希望の場所になければ  
やはり付かないのです。

ですから  
特に洗面室には

あらかじめ  
あらゆるパターンを想定して  
下地の打ち合わせをする必要があります!

このところを  
簡単に考えてはいけません!  
今、思いつかなくとも  
余分に下地をいれてもらいましょう。

### 3.TV をカベに取付したい時

家の中でも

TV をどこに置くかと考えると思います。

地デジ以前は

テレビは台に置くものとして

せいぜい考えておくことは

アンテナの位置くらいのものでしたが

今は

この部分をしっかり考えておくか

何もしないかで

その後の

**充実感に影響を及ぼす場所はありません!!**

では

具体的に説明します。

①TV は必ずカベ付けを考えていると伝えましょう

②コンセント、アンテナの他に LAN も希望する

③TV の上の天井にコンセント、場合により スピーカーの  
コード

を目立たないように出してもらおう

④プロジェクターを天井に付ける場合の

下地を付けてもらおう

⑤スクリーン取り付けのための下地を付けてもらおう。

どうですか？

必要が無いというものも当然あったと思いますが

これだけお願いしても

下地工事としてはほんの少しの気遣いでできてしまうので  
すよ！

ですが

建築側が

お客様に

積極的に提案するという事は限りなく無いことです。

しかし

具体的=目に見える形、図面や写真、スケッチ等で伝えることが

できれば快く相談に乗ってもらえるでしょう。

#### 4. 冷蔵庫の上に棚板を付けたい時

冷蔵庫の上は**デッドスペース**となっていないませんか？

ちょっとした**棚(一枚)**や**箱**が欲しいと思ったことはありませんか？

絶対ありますよね！

それで

付けてみようと思い

ホームセンターで板を購入し

いざ! 取り付け! . . . .

あれっ?

下地が無い!!!

それで

下地を作る為の材料と

ボードアンカーをまた購入する . . .

なんとか付けることができて

不格好で美しくない(;\_;



でも

これらのことって、

下地が有りさえすれば

何も苦労せずに

できたことがらなんです。

ですから

打ち合わせの時には

必ず伝えましょう。

## 5.納戸(物入れ)に棚板やフックを付けたい時

物入れには

あらかじめ棚が付いている場合が

多いものですが

意外とフックなどの小さな金物を取り付ける時に

下地がないということも少なくありません。

ですから

物入れの両側のカベにフック類を付けたいと

伝えましょう。

それだけで

下地を入れてもらえるはずですよ(^-^)

## 6.廊下やトイレにも手すりを付けたい時

これは

とても大切なことなのですが

手すりが必要なのは**階段だけではない**ということです。

高齢者施設にあるような

廊下やトイレの手すりが

付けれる下地工事をしてもらえば安心です。

## 7.意外に必要! 玄関の盲点

玄関には意外と盲点があるのをご存知ですか？

それは

私自身が

怪我をして車椅子で

我が家に帰ったときのことなんですが

家の前の

玄関に上がることも非常に困難が伴いました。

つまり玄関に上がる為の階段を登れないため  
車椅子ごと  
持ち上げてもらったということです。

今でこそ

玄関前のスロープのある住宅が増えましたが  
当時は少なかったものです。

**玄関ドアの幅に注意!**

これは

家の中にも通ずる話ですが  
支えられても立って移動できれば

良いとしても

玄関だけは

必ず車椅子が通るかどうかを確認しましょう。

そして

外側にも

転倒防止の為の手すりがあったほうが断然安全です!

若くても

夜間、ステップでつまづくことはあるものです(^\_^;)

ですから

家の中から

外にいたるまで

下地をいれてもらうと良いということです。

## [最後に]

残念ながら

新築時やリフォーム時において

そこまで踏み込んで

提案してもらえることは希だと思っていたほうが

良いでしょう。

ですから

やはり

『知識は身を助ける』

の言葉通り



機会あるごとに

住宅展示場を見て歩いたり

WEB、メルマガ等で

知識を得るようにすると良いと思います。

ちなみに

展示場の**受付が嫌だ!**

家を持っているから**行きづらい!**

という方でも

すんなり入れる**魔法の言葉**を

お教え致しましょう。

「私には知人から、家を考えているんだけど  
どこのメーカーが良いのか教えて欲しい! と良く言われ  
るんですよ」

「この、ほかのメーカーには無い 「売り」 はなんで  
すか?」

と言うと

相手も緊張して 丁寧に答えてくれますよ! (^-^)

- ・
- ・
- ・

最後まで

お読みいただきありがとうございます。

以上の観点は

私が

長い間に渡って

特注家具屋として設計や現場で培ってきたものです。

そして

このような知識は

WEB でもなかなか知るべくもない現状をかんがみて

今回

提供させていただきました。

そして

次には

具体的な設計案(データの提供)を考えているところです。

家具の知識は

身の回りを激変させる力がありますよ!

用意ができましたら

またご案内しますので

その時まで

少々お待ちください。

ありがとうございました。

## [自己紹介]

簡単な自己紹介をさせていただきます。

私は長い間、(30年近く)

住宅に関わる『造作家具』や『特注キッチン』などの家具や部材作りを通して

何人もの

一級建築士の方々や  
インテリアコーディネーターと  
打ち合わせを重ねてきています。

そして

数々のお客様の意見を間近に聞ける  
立場でもあった為

建築とは

住んでからが  
評価に値するという実感を得ています。

ホームページ

<http://kawajiridesign.com/>